
東海第二発電所

外部からの衝撃による損傷の防止(竜巻)

審査会合コメント回答

平成29年9月25日
日本原子力発電株式会社

本資料のうち、は商業機密又は核物質防護上の観点から公開できません。

1. 指摘事項

車両の退避時間等について、今後実証試験を実施すること。

2. 回答

退避エリア①への退避について、現時点で実施可能な右図ゲート3までの実測(17/9/21)の結果を踏まえ、当初想定に余裕が含まれていたことを確認するとともに、余裕をより多く確保すべく運用を見直した。
 今後は関連設備の整備完了後に、全体の成立性を確認する。

最長ルートでの退避に要する所要時間(:実測値)

要素	当初想定	実測(9/21)を踏まえた現想定	備考
搭乗～発進	約1分	(同左)*1	予め、竜巻準備体制を確立(運転手は車両近傍に待機)
出発～ゲート1到着	8.2分 (10km/h)	5.0分 (16km/h)	車両6台による一斉走行
ゲート1通過	0.25分	0分	緊急時として、ゲートでの停止は「なし」とする
ゲート1出発～ゲート3到着	1.7分 (10km/h)	1.5分 (11km/h)	
ゲート3通過	0.25分	0分	ゲート1同様、停止「なし」
ゲート3出発～退避エリア①	3.8分 (10km/h)	(同左)*1 施設整備後に実施	
駐車、運転手退避	約5分		
その他裕度	約9.7分	約13.7分	その他不測の状況に対する裕度
総計	約30分	約30分	竜巻襲来までの設定裕度

*1: 試験未実施につき、想定値同等と仮定